



山岡けんじ

駅社員の自殺問題についての新聞投稿 労務管理に問題あり!

5月15日付『中日新聞』の投稿欄に、駅社員の自殺問題についての意見が掲載されました。

自殺に追い込んだのは、出勤遅延でもない事象に対し会社がプライベートのことまで介入し、本人を追い詰めたのが原因で、絶対あってはならないことだと主張しています。そして、福知山線事故の背後要因である「日勤教育」と共通するもので、労務管理突出の疎外体質だったのかと問題提起しています。JR東海労もこの意見に賛同します。

JR東海労は、この自殺問題を経営協議会、団体交渉などの場で、会社の姿勢を糾弾し、会社にパワハラや行きすぎた労務管理の是正を求めてきました。しかし、会社は全く反省の色を示しませんでした。ところで、職場においてあったこの自殺問題を取り上げた『中日新聞』記事がページごと無くなっていたことを記載した本紙No.1829に対し、会社が「コピーするため一時持ち出した。言論統制ではない」と抗議してきました。「会社が新聞の記事を抜いた」などとは一言も書いてありません。よほど後ろめたさがあるのでしょうか?

会社はこの投稿記事を真摯に受け止め、猛省すべきです。

発言

若者

●●●● 無職 69 「奨励」され、公私の指導の日勤教育を受け
(浜松市西区) 行動記録を出せと一指していた。

今、若者を取り巻く「導」されていたとい 果たちは、大企業や
環境は好ましいもので 役所が意外なほど事な
はない。就職率は低く 「良い会社に入れて かれ主義であること
離職率は高い。 よかったね」、周囲かを、原発事故対応の
先ごろ、 東電や、い
職場のパワ 21歳駅員の死 会社に問題も じめ対応の
ハラが原因と思われるらそう祝福してもらっ 教育委員会から学ん
二十一歳の駅員の自殺 たに違いない。しかしだ。

の経緯を書いた記事が 自身は労務管理突出の 若者の死に「我慢し
あった(四月五日付朝 疎外体質だったのか。 ろ、なにも死ぬことは
刊④面)。会社に遅刻 八年前、福知山線脱線 ない」と簡単に済ませ
する恐れがあるから一 事故で亡くなった二十 七歳まで
時間前に出勤するよう 三歳の運転士も厳しい だろうか。

5月15日『中日新聞』

会社は真摯に反省し、強権的労務管理をなくせ!